

5-1-2 古川祭屋台 9 基

■所 在 地 吉城郡古川町 9 町内

■所 有 者 古川祭保存会

■岐阜県指定年月日 昭和 45 年 8 月 11 日

現存する古川祭屋台 9 基は、起し太鼓で知られる古川町気多若宮神社の例祭に曳き出される。

- ・神楽台 明治 16 年（1883）に高山の一本杉白山神社から譲り受けたもの。
- ・青龍台 謡曲「鶴亀」にあわせて福祿寿と唐子が動くからくり屋台。
- ・白虎台 天保 10 年（1839）に竣工したもので、古川祭の屋台の中では最も古い。
- ・清曜台 かつて扇子台と称し、三之町一円の所有であったが、上組の所有となり清曜台と改称。
- ・麒麟台 下段前面の麒麟の彫り物、側面の龍と獅子の素木彫りなど多彩な彫刻が特徴。
- ・龍笛台 初代は安永年間（1772～1781）の製作とされるが、現在のものは明治 19 年（1886）竣工。
- ・三光台 かつて龍門台と称したが、日・月・星の三光にちなみ三光台と改称。
- ・鳳凰台 明治 24 年（1891）廃台となり、大正 6 年（1917）に製作。屋根には大鳳凰を飾っている。
- ・金亀台 天保 12 年（1841）の再建、明治 30 年（1897）及び大正 15 年（1926）の 2 回にわたり大修理を実施。

岐阜県教育委員会編集『岐阜県文化財図録』平成 11 年発行より